

# マイナンバー制度が始まります

今年10月から、国民一人一人にマイナンバーが通知され、平成28年1月からは、マイナンバーを社会保障、税、災害対策の行政手続きで利用します。今号で制度の概要について、次号で具体的な個人番号カードの申請方法などをお知らせします。  
問い合わせは、総務課行政管理係（☎内線558）へ。



マイナンバーキャラクター  
「マイナちゃん」

## マイナンバーとは

今年10月から、住民票を有する全ての人（住民票がある外国人を含む）に通知される、一人一人異なる12桁の番号をマイナンバーといいます。  
個人が特定されないように、住所地や生年月日など関係ない番号が割り当てられます。

## マイナンバー制度導入によるメリット

マイナンバーは、各機関が管理する個人情報と同じ人の情報であることを正確かつスムーズに確認するための基盤となります。

### ◆公平・公正な社会の実現

・マイナンバーの活用により、所得や他の行政サービスの受給状況が把握しやすくなるため、負担を不当に免れることや給付を不正に受けることを防止するとともに、本当に困っている人へのきめ細かな支援を行うことができます。

### ◆国民の利便性の向上

・添付書類の削減など、行政手続きが簡素化され、国民の負担が軽減されます。  
・行政機関が持っている自分の情報を確認したり、行政機

関から様々なサービスのお知らせを受け取ったりできるようになります。

### ◆行政の効率化

・国や地方公共団体をはじめとする行政機関において、様々な情報の照合・転記・入力などに要している時間や労力が大幅に削減されます。  
・複数の業務の間での連携が進み、作業の重複などの無駄が削減されます。

### こんな場面で必要に

マイナンバーは次のような場面などで必要になります。

### ◆社会保障関係の手続き

・年金の資格取得や確認、給付  
・雇用保険の資格取得や確認、給付  
・ハローワークの事務  
・医療保険の給付の請求

・福祉分野の給付、生活保護  
◆**税務関係の手続き**  
・税務署に提出する申告書、届出書、法定調書などの記載  
・都道府県・市町村に提出する申告書、給与支払報告書などの記載

### ◆災害対策

・防災・災害対策に関する事務  
・被災者生活再建支援金の給付  
・被災者台帳の作成事務

### ◆個人番号カード

個人番号カードは、無料で取得でき、本人確認に利用できる公的身分証明書です。マイナンバーを記載した書類の提出や様々な本人確認の場面で利用できるカードです。  
今年10月からマイナンバーの通知カードと「個人番号カ

マイナンバーは、行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平・公正な社会を実現する社会基盤です。



## 制度の問い合わせは

内閣府では、マイナンバー制度に関するお問い合わせのためのコールセンターを開設しています。（土、日、祝日、年末年始を除く）  
時間 午前9時30分～午後5時30分  
全国共通ナビダイヤル ☎0570・20・0178  
※ナビダイヤルは通話料がかかります。



## 桐生・みどり新市建設研究会 第3回研究会を開催

7月3日（金）、桐生市役所で「第3回桐生・みどり新市建設研究会」を開催しました。5つの研究項目について、調査・研究を進めている各ワーキンググループから、下の表のとおり研究作業の進捗状況及び今後の研究方針に関する報告がありました。

これを受けて、10月上旬に開催予定の第4回研究会に向けて、引き続きスピード感を持って調査・研究を進めていくことが確認されました。

今後も、研究会の開催結果を広報きりゅうや市ホームページなどで報告します。

問い合わせは、広域調整室広域調整係（☎内線386）へ。

研究項目	進捗状況	今後の研究方針
① 両市の行政サービスの水準	市民生活に直結し、関心の高い行政サービスのうち、両市の行政サービス水準に差があり、特に市民への影響度が大きいと考えられる44項目について、サービス水準の均一化を図るために必要となる追加財源額を調査しました。	先行調査した44項目以外の事業についても、両市の行政サービス水準の均一化を図るために必要となる追加財源額の調査を進めます。
② 両市の共通する課題、地域の抱える課題の解決	人口減少や公共施設の老朽化など、行政の各分野で両市が共通して問題意識を持っている18項目について、解決策の研究を行いました。	両市がそれぞれ問題意識を持っている項目についても、解決策の研究を進めます。
③ 都市経営、行政運営から見た将来像	両市が一つになった場合を想定し、人口17万人規模の都市における行財政運営などに関する調査を行いました。	両市が一つになった場合の市職員の人員配置や財政シミュレーションなどの作成に向けた研究を進めます。
④ 両市を一体的に考えた都市デザイン	両市が一つになった場合を想定し、人口17万人規模の都市における公共施設の設置状況を調査するとともに、両市における公共施設の配置状況の確認を行いました。	両市の公共施設の中で老朽化が激しく、改修や再配置が必要な施設について検討するとともに、都市整備の方針図作成に向けた研究を進めます。
⑤ 連携中枢都市圏制度に対応した地域のあり方	連携中枢都市圏制度の概要及び連携中枢都市圏の形成の動きなどについて、把握を行いました。	連携中枢都市圏制度への対応方針や、東毛・両毛地域における都市間連携による機能・魅力の強化策などの研究を進めます。

## 「住宅取得応援補助金」申請受付中

最大200万円補助！



桐生市内に住宅を建築・購入すると住宅取得費の一部を補助します。  
申請には条件が有りますので、パンフレットを御確認ください。パンフレットは、市ホームページ又は市役所4階の建築住宅課、新里・黒保根支所などに有ります。  
問い合わせは、建築住宅課住宅係（☎内線633）へ。

